

運営委員会

- 第5回 10月1日・本年度予算執行、2008年度公開研究会について 他
- 第6回 10月22日・COE事後評価結果、研究協力者委嘱、2008年度奨励研究審査、図書・資料の収集方針、ホームページ(案)、第2回公開研究会開催、中山大学との学术交流について 他
- 第7回 11月26日・研究員人事、グローバルCOEへの対応、海外学术交流機関との提携・若手研究者の招聘(受入態勢)・派遣、第3回公開研究会、只見町との研究協定更新について 他
- 第8回 1月7日・2008年度予算の組替え、21世紀COE事後評価の諸対応、年内刊行物の編集状況、第3回公開研究会の企画、COE保存資料の管理について 他
- 第9回 1月28日・2008年度予算の組替え、奨励研究者の海外出張、奨励研究費の予算変更手続き、COE関連ブックレット企画、COE関連公開講座企画、センター・ホームページの業者説明会およびプレゼン、年内刊行物の編集状況、海外提携研究機関との覚書締結状況について 他

研究員会議

- 第4回 12月3日・COE事後評価結果および2009年度グローバルCOE申請、只見町との研究協定更新、基幹研究会・課題別研究会報告提出、研究協力者の委嘱、中山大学との学术交流、海外学术交流機関との提携・若手研究者の招聘(受入態勢)・派遣、2008年度奨励研究審査結果、公開研究会開催状況および企画、ホームページ準備状況、図書・資料の収集方針について 他
- 第5回 2月6日・2008年度予算の組替え、21世紀COE事後評価の正式公表に伴う諸対応、2008年度事業報告および2009年度事業計画、2009年度研究員人事、センター・ホームページの準備状況、第3回公開研究会(2009年3月14日)、海外学术交流機関との覚書締結状況、浙江工商大学日本文化研究所との研究者交流について 他

研究会

全 体

- 第2回 12月3日 福田アジオ「図像資料と民俗学」
高野宏康「東京慰霊堂調査・経過報告」/北原糸子「関東大震災と避難民」
- 第3回 2月6日 貴志俊彦「戦前在華『外国人』人口統計データベースを量した地域人口分析」
大里浩秋「同仁会機関誌に見る現地日本人居留民」

研究班

- 10月21日、28日、12月2日、16日 関東大震災後の都市復興過程とそのデータベース化、並びに資料収集 研究会
- 10月1日、11月19日 『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂共同研究 研究会
- 11月26日、12月12日、1月16日 非文字資料研究ネットワーク形成研究 研究会

現地調査

| |
|---|
| 北原糸子、田中傑、高野宏康 |
| 東京都墨田区 東京都慰霊堂 (10月7日、11月4日、11日、14日、18日、21日、25日、28日、12月10日) |
| 関東震災に係る資料収集調査 |
| 北原糸子、田中傑、高野宏康 |
| 東京都中野区 三井文庫(10月14日) |
| 関東震災に係る資料収集調査 |
| 福田アジオ、大里浩秋、田上繁、金貞我 |
| 韓国ソウル特別市国立民俗博物館・漢陽大学校博物館他 (2009年1月22日～1月24日) |
| 海外ネットワーク形成のための研究機関訪問および協議 |

編集後記

センターが実際に活動を開始してから半年、21世紀COEの事後評価結果が正式に確定しました。結果は、Aランクということで、上々の評価でした。評価されたことは喜ぶべきことですが、それだけの評価を受けた以上、21世紀COEの後継事業であるグローバルCOEにも応募すべきだ、という当然の声が出て、その申請の準備にとりかかりました。またまたCOEという大事業に取り組むことになるかどうかはわかりませんが、非文字研究の世界化のためには、もう一踏ん張りしなければと覚悟をきめました。

表紙の写真は、明治時代に日本の文化や風俗を紹介するために外国向けに出版されたチリメン本の一冊から取ったものです。縮緬のような特殊な用紙を使い、カラーで美しく仕上げた本で、たぶんお土産用だったかもしれません。ただそこに描かれた風景・場面は、当時の日本が、どんな風に自分の文化や風俗を認識し、世界に向けて発信しようとしていたのかを知ることができる図像資料として興味深いものです。(橘川)